

## 令和6年度 第4回 全中理 開発教材コンテスト 実施要項

- 1 趣 旨 ・中学校の理科授業において、創意工夫が見られ、著しい教育効果が期待できる教材の普及を図る。  
・理科教育における教員の独創的・創造的な教材開発の資質・能力の育成を図る。  
・秀逸な教材を開発した教員にグランプリ、その他の賞を贈呈し、賞賛する。
- 2 期 日 審 査 一次審査 令和6年12月23日（月）～令和7年1月20日（月）  
二次審査 令和7年2月20日（木）～令和7年3月27日（木）  
審査委員会（全中理役員）による書類審査及び対面審査（プレゼン、質疑応答で10分程度）  
表 彰 令和7年8月 全中理北海道大会開会式
- 3 主 催 全国中学校理科教育研究会
- 4 後 援 （公益社団法人）日本理科教育振興協会
- 5 応募数 各都道府県で2点程度。
- 6 応募内容 開発教材及びその解説 「申込書」「応募の概要」「添付資料（A4で3枚以内）」  
\*既存の教材でも、独創的な工夫や創造的な付加価値があれば可。  
ただし、すでに他のコンテスト等での受賞した教材は不可。
- 7 各 賞 グランプリ（全中理会長・日本理科教育振興協会会長賞）  
ヤガミ賞、ケニス賞、島津理化賞、ナリカ賞、内田洋行賞
- 8 賞 品 デジタル顕微鏡、プログラミング教材等
- 9 応募方法 全中理HPより、「令和6年度第4回全中理開発教材コンテスト」の実施要項にしたがって所定様式の「申込書」、「応募作品の概要」をダウンロード、期限までにWebにより送付。また、詳細等の提示のための「3枚以内の添付資料（教材写真、使い方解説等）PDF形式」については任意とする。
- 10 受付期間 令和6年11月7日（木）「申込書（エントリーシート）」必着  
令和6年12月6日（金）「応募の概要」「添付資料（A4で3枚以内）」必着
- 11 審査方法 「申込書」「応募の概要」「添付書類」により一次書類審査→その段階でグランプリ候補教材を数点に絞る。その後、二次審査では、一次書類審査と併せてオンラインでの対面審査（プレゼン、質疑応答で10分程度）を行う。  
\*原則、Webによる書類・対面審査等で各賞を決定する。教材実物及び撮影動画等の提出については事前相談とする。
- 12 審査基準 ・ねらいの明確さ（何のために使用するのかが明確になっているか）  
・教育効果の期待度（生徒の理解度・課題への達成度・興味関心の高さ）  
・オリジナル・独創性（教材に教師のオリジナル性を感じるか）  
・汎用性（多くの先生にとって使用しやすい教材となっているか）
- 13 発 表 令和7年5月に表彰する教材を審査委員会で決定し、各賞受賞者への発表は、令和7年度期首役員会確認後、全中理事務局より本人に伝える。また、全中理指導資料集及び全中理HPに掲載する。
- 14 送付先 東京学芸大学附属世田谷中学校 教諭 高田 太樹  
TEL 03-5706-3301 FAX 03-5706-3340  
E-mail kyozaï-contest@zenchuri.net